



玉名市築山空手道場 中島 暁峰

マスターズ新聞

第3号
発行所
マスターズ部会
生涯空手編集部

私にうれしい電話がありました。それは、熊本県空手道連盟からの原稿依頼でした。日本体育協会主催の日本スポーツマスターズに私が10年以上出場していたのを覚えておられたのでしょうか。スポーツマスターズに関する記事でした。ところで、私は5年前に心臓を止めて10時間以上の手術を受け約半年間寝たきりになりました。手術後は全く足を動かすことが出来ず寝返りも打てません。ベッドの上で天井を見ているだけでした。なぜ1級障害の体にならなければならなかったのかと涙が出てきます。ICUでは、寝ている私を見て看護婦が「この人、よう生きているな」と言われました。寝たきりになるのが嫌でリハビリを頑張り歩けるようになりました。今では、自分で開いた道場に指導に行っています。退職し年金暮らしで障害者となった私にとって、社会とのつながりは道場だけです。そんな中、私のことを覚えてくれた県空連からの電話が嬉しく、喜んで引き受けることにしました。社会とのつながりを感じるのは嬉しい限りです。

さて、私がスポーツマスターズに出場したのには理由があります。一つは、道場生が試合に出場するとき、気迫負けをするなど指導しています。こんなことがありました。流派の大会に出場していた道場生が突きを受け鼻血を出しコートに横たわりました。私がティッシュを渡すと震える手で拭っていました。目は私に訴えています。試合はもうしたくないと。しかし、私は、試合しろと背中を押しました。その後の試合は、気迫負けでした。試合後その子は、私の顔を見た瞬間「お前が試合に出てみろ、している俺は大変なんだぞ」と大声で私に叫びました。怖くても戦わされた感情が一気に爆発したようです。試合で戦い勝つのは大変です。だから、言うだけでなく自分も試合に出て戦っています。

二つ目は、試合で色んな所に行けるからです。行く計画を立てるのも楽しみです。2015年の石川大会は大阪まで新幹線でそれからは金沢までサンダーバードに乗車しました。有名な兼六園を夫婦で散策もしました。夕食はプチ贅沢をしてノドグロを美味しく頂きました。地元の名物料理を頂くのも楽しみです。

観光地を歩いていると、クリームが見えないほどの大きな金箔が載った豪華なソフトクリームを食べている人を見かけました。そのソフトクリームを食べたくなり、お店に行くと並んでいる、並んでいる長い行列ができていました。かなり待たなければなりません。しかし、話のネタに食べたい。並ぶことにしました。手にしたそれは、大きな金箔が載っていて、さすが金持ちの金沢藩の子孫が考える物だと感心しました。食べた金箔は私のどこにいったのでしょうか？

見学するところを調べてみると米百俵で作られた学校があることを知りました。遠くでしたが、行くことにしました。米百俵は、長岡藩の藩士小林虎三郎による教育にまつわる故事で、この米百俵の売却金によって開校したのが「国漢学校」です。現在の辛抱が将来の利益となることを象徴する物語としてしばしば引用され、新潟県立長岡高等学校の前身です。当然、道場の子供たちに尾ひれをつけて話しました。

旅行は話の題材探しにいいようです。2012年の高知大会も夫婦で行きました。学生時代に地図で見る佐多岬は細長く左右が高で風光明媚だろうと思い何時か車で走ろうと思っていたので当然自家用車です。大分県の佐賀関からフェリーで三崎港に渡り、そこから佐多岬をドライブしました。時間があればドライブコースに最適です。夜、夫婦で高知市内を散策するとマスターズで来た人達でしょう、大勢の人々が飲み歩き賑やかでした。私たち夫婦も、屋台村でカツオの叩きを美味しくいただきました。ここでは食をそそられます。

藁を燃やし高く炎を出しカツオをあぶるパフォーマンスをして、いい匂いをさせているからです。翌日の昼食もカツオの叩きでした。桂浜にも行きました。太平洋に砂浜と素敵なお店が並んでいました。

少し高いところからそれを眺めてみると、この景色を坂本龍馬も見たのかと思うと不思議な感覚になりました。有明海を見て育った私にすれば、太平洋はどこまでも広く水平線が湾曲しているのに感動しました。当然、道場の子供たちにこの体験を話しました。玉名市内だけで暮らしていると(井の中の蛙大海を知らず)になり、了見の狭い人間になるのが嫌で見分を広めるため、この大会に参加し自分磨きをしました。

最後に、私は歩いていました。しばらく歩くと、私の周りに歩く人が増えてゆきました。歩き続け、左に折れると先に川があります。皆は、渡し船で渡ってゆきました。私は何となく渡るのが嫌で元の道に戻り真っすぐ歩いていると、ベッドの上だと気づきました。三途の川を見た私です。私の人生は残り僅かです。これからは、道場に来てくれる子供たちを少しでも強く、悪に立ち向かい引き籠らない、優しさと思いやりを持つ子に育つお手伝いが出来たら最高の我が人生だと思います。

